

OBTP032 国際ディベート合宿II

1.0 単位, 2 年次, 通年 随時

藤井 直人, 松井 崇, 雨宮 怜, 國部 雅大, 岡本 正洋

授業概要

国際ディベート合宿Iの経験を踏まえ、設定したテーマに関して、最先端の研究者を国内外から招聘し、学際的な研究領域の教員及び受講生が参加して、英語で集中討議を行う。受講生は、合宿の企画・運営に携わるとともに、各自の研究計画及び成果を発表、並びに司会等を担当することで、国際的ディベートに必要な技能を習得する。

備考

選択

対面

授業方法

演習

学位プログラム・コンピテンスとの関係

コミュニケーション能力、国際性、実践力

授業の到達目標(学修成果)

国際ディベート合宿 I の経験を踏まえ、設定したテーマに関して、最先端の研究者を国内外から招聘し、学際的な研究領域の教員及び受講生が参加して、英語で集中討議を行う。受講生は、合宿の企画・運営に携わるとともに、各自の研究計画及び成果を発表、並びに司会等を担当することで、コミュニケーション能力、国際性、実践力を養う。

キーワード

ディベート, 国際性, プレゼンテーション

授業計画

- 第1回 国際ディベート合宿の概要
- 第2回 招聘研究者について
- 第3回 ディスカッションテーマの決定
- 第4回 ディスカッションに向けてのプレゼンテーション準備
- 第5回 ディスカッションに向けての英語表現準備
- 第6回 ディスカッションに向けての質疑応答準備
- 第7回 招聘研究者に対する自己紹介
- 第8回 招聘研究者を囲んでのグループディスカッション
- 第9回 ディベート合宿の振り返りと事後指導
- 第10回 レポート作成

履修条件

原則として、次世代健康スポーツ科学履修モデル対称者。英語でのコミュニケーションが可能な者。国際ディベート合宿Iを履修済みの者。

成績評価方法

ディスカッションに向けての準備 (50%)、招聘研究者とのディスカッション内容 (30%)、レポート (20%) により、教育課程委員会が提示する基準も踏まえて総合的に評価

学修時間の割り当て及び授業外における学修方法

1単位の取得には、授業時間 (75分×授業回数) を含めて45時間の学修時間が必要であり、普段の研究活動の際に授業で得た知見を活用すること。

教材・参考文献・配付資料等

適宜、参考書・参考資料等 適宜資料 (プリント、電子ファイル) を配付する。

オフィスアワー等(連絡先含む)

オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡をしてから訪問すること。

その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)

他の授業科目との関連

OBTP031 国際ディベート合宿I

ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)